

### 第3章 健康・福祉 第3節 高齢者福祉

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
介護保険課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、公募にて施設整備法人を決定したが、計画どおり施設整備できた。	H28年度に改善した点	無	無			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①補助金交付(施設整備費) ②補助金交付(開設準備費等支援) ③補助金交付(定期巡回・随時対応サービス運営費等支援)	第6期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 (高齢者福祉施設等の整備目標)	所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく									
	高齢者福祉施設整備費補助事業(地域密着型サービス)	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
		所沢市介護保険条例・介護保険法	161,534千円	95,236千円										①1法人2事業所 ②2法人4事業所 ③対象施設開設なし		
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合											H28年度目標	H28実績
		高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービスの施設及び設備を整備しようとする法人に対して、その費用を補助することにより地域密着型サービスの整備を促進し、高齢者福祉の促進を図るもの。	0.65人	0.00人												
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H29年度目標	目標達成済												
5,629千円	0.00人		2法人2事業所													
期間	~	1.35人	0.00人	11,576千円	0.00人			介護保険課長 井上 典								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年概ね(90%以上)達成しており、健康体操教室の取組については、一定の成果が挙げられている。今後、事業の改善、効率化を図りながら参加者の確保に努めていきたい。	H28年度に改善した点	無	無			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	11,176	9,343	①参加者数	参加者数	加齢に伴う生活機能の低下や要介護状態になることを予防する取り組みのため、参加者数を指標としている									
	いきいき健康体操教室事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
		介護保険法	11,807	11,183										①565人 ②24コース ③		
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合											H28年度目標	H28実績
		高齢者が出来る限り自立した生活を送り、介護が必要な状態とならないため、高齢者の状態に合わせた通所型介護予防教室を開催する。具体的には、老人福祉センター4施設(直営)、老人憩の家8施設(指定管理委託)、民間施設において、1コース定員25名とし、自宅でも継続可能な体操や、イス、ボール、タオル等を使用した運動を実施し、参加者の自発的な運動継続意欲を支援する。	0.72人	0.00人												
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H29年度目標	目標値を達成できるようなコース数・定員数を用意したが、応募が少ないコースもあり定員数を満たせなかった。周知の方法や開催の時期・場所を工夫していきたい。												
6,235千円	0.00人		600人													
期間	H19年度~	1.50人	0.00人	12,863千円	0.00人			高齢者支援担当 参事 瀬能 幸則								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標に対して90%を超える割合の実績があるため。また、参加するだけではなく、参加者が出演者と一緒に合唱する参加型の介護予防事業として実施できたため。さらに、介護予防事業として健康に関わる講演が開催でき、参加者にとっても好評であったため。	H28年度に改善した点	無	無			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,460	3,048	①参加者数(人)	満足度 (アンケートで「楽しかった」と回答した人数 / 参加者数)	介護予防事業であることから、ただ参加するだけでなく満足度の高いものとする事で次年度の当事業への参加意欲を高め、引いては積極的な外出を促す狙い。									
	単身高齢者保養事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
		所沢市単身高齢者保養事業実施要領	6,339	5,993										①449人 ②25% ③		
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合											H28年度目標	H28実績
		単身高齢者に対して、ミュージズでの落語やコンサート公演など介護予防に資する事業を実施し、外出を促すことで寝たきりや認知症を予防するとともに、事業を通じて参加者同士がコミュニケーションを図ることで友人関係を構築するなど、地域との関わりを持つことを目的としている。	0.42人	0.00人												
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H29年度目標	悪天候の影響や当日の体調不良等により参加者数が想定を下回ったため。前年度参加者に案内通知を送付することに加え、要支援要介護等を受けていない単身高齢者を無作為抽出し参加案内を通知する方法を検討する。												
3,637千円	0.00人		90%		82%											
期間	S55年度~	0.50人	0.00人	4,288千円	0.00人			高齢者支援担当 参事 瀬能 幸則								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成している。今後もセンターの周知を図り地域から利用されるセンターの運営を目指していく。	H28年度に改善した点	無	無			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	321,500	319,836	①被支援者延べ人数	利用率	①被支援者延べ数/②高齢者人口×100 相談支援等を目的とした事業のため、利用率を目標としている。									
	地域包括支援センター運営事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
		介護保険法	332,640	330,294										①26,983人 ②88,498人 ③		
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合											H28年度目標	H28実績
		地域包括支援センターを市内に設置することで、介護保険法に定める包括的支援事業(訪問相談等)、介護予防事業(介護予防教室等)等を実施し、高齢者をはじめ地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。	3.17人	0.00人												
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		H29年度目標	目標達成済												
27,452千円	0.00人		29%		30%											
期間	H18年度~	2.11人	0.00人	18,093千円	0.00人			高齢者支援担当 参事 瀬能 幸則								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
高年齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を100%達成しており、第5期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づいて整備しているため、計画に対する実行率を指標とする。H29年度目標については、施設の整備計画がないため、0とした。	H28年度に改善した点	無	無
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0	0	①予算(補正を含む)	計画に対する実行率 H28年度は広域型特別養護老人ホーム1施設への補助	高年齢者福祉施設は、高年齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づいて整備しているため、計画に対する実行率を指標とする。H29年度目標については、施設の整備計画がないため、0とした。	H28目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市高齢者福祉施設整備費補助金交付要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②決算								
	事業の目的及び具体的な内容	地域の高齢者やその家族に良質で安定した介護サービスを提供するため、市内に高齢者福祉施設及び設備を整備しようとする法人に対して、その費用を補助することにより、高齢者福祉施設等(地域密着型サービスを除く。)の整備を促進する。	24,000	24,000	③施設数	H28年度目標	H28実績	目標達成済					
	期間	H17年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標							
			0.70人	0.00人	①24,000千円	0	0						
		6,062千円	0.00人	②24,000千円	100%	100%							
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③1施設	0								
		0.48人	0.00人										
		4,116千円	0.00人										
高年齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業対象者のうち96%が利用しており、高い利用率であるが、対象者の減少等の課題がある。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,115	986	①入浴券使用枚数	利用者数	自宅に入浴設備がなく、常時公衆浴場を利用する方が対象となり、在宅での生活維持等を目的としているため、利用者数を指標としている。	H28目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市公衆浴場老人入浴料金助成要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②								
	事業の目的及び具体的な内容	自宅に入浴設備のない高齢者が、在宅での生活を維持できるように、公衆浴場の入浴料金を助成することにより、生活環境の保持に努めることを目的とし、常時公衆浴場を利用する方に、無料入浴券を月9枚、半年分づつ配布する(4月と10月)。	1,115	805	③	H28年度目標	H28実績	高齢者のため、体調不良や入院等で公衆浴場まで行けない方がいる。					
	期間	S49年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標							
			0.15人	0.00人	①1,871枚	24人	23人						
		1,299千円	0.00人	②	24人	23人							
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	23人								
		0.17人	0.00人										
		1,458千円	0.00人										
高年齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標に対して90%を超える割合の実績があるため。また、敬老会行事検討委員会において75歳の方へ祝品や地区主催の敬老行事が大変好評であったとの報告が、多くの地区から寄せられたため。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	33,026	32,160	①参加率	参加人数	敬老会に多くの方が参加して楽しんでいただくことを指標にしている。	H28目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	老人福祉法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②地区実行委員数								
	事業の目的及び具体的な内容	長年に渡り社会に貢献した高齢者を敬愛し、地域住民が高齢者福祉に理解と関心を深めるために、高齢者の長寿を祝う敬老会行事を地域で開催する。敬老会行事検討委員会を開催し、市は各地区の高齢者数や会場数等に応じ、交付金を交付する。	34,358	32,793	③	H28年度目標	H28実績	高齢者の参加人数については、当日の体調や天候等により左右されることもあり、急遽欠席となることもあるため。					
	期間	S49年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標							
			0.59人	0.00人	①16.7%	7,000人	6,744人						
		5,109千円	0.15人	②1,652人	7,000人	6,979人							
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③	7,100人								
		0.56人	0.00人										
		4,802千円	0.15人										
高年齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標に対して80%を超える割合の実績があるため。また、事業費に占める補助金の割合は低く、自主性の高い活動を行っている団体ではあるが、地域の一人として高齢者の社会参加につながる就業機会の確保は継続して行う必要がある。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	15,000	15,000	①家事サービス関係就業人数	就業延べ人数	高齢者の能力に応じた雇用の促進及び雇用に伴う高齢者の地域への社会参加を図ることから、就業延べ人数を指標としている。	H28目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	老人福祉法、公益社団法人所沢市シルバー人材センター補助金交付要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②軽作業関係就業人数								
	事業の目的及び具体的な内容	高齢者の能力に応じた雇用の促進及び雇用に伴う高齢者の地域への社会参加を促すため、地域に密着した就業の機会を提供するシルバー人材センターに補助金を交付する。	15,000	15,000	③管理関係就業人数	H28年度目標	H28実績	高齢者がこれまで勤めていた企業での雇用を継続する傾向も高まっているため、シルバー人材センターへの就業登録が進まないものと思われる。より効果的な周知方法の検討が必要。					
	期間	S53年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標							
			0.09人	0.00人	①17,343人	180,000人	166,242人						
		779千円	0.00人	②64,917人	180,000人	156,726人							
		H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③60,765人	170,000人								
		0.10人	0.00人										
		858千円	0.00人										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	会員の登録数が伸び悩んでおり、また、活動が継続できないとして解散となった団体が複数あったため。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,757	4,367	①長生クラブ数	会員登録率 (会員数 / 3月末時点高齢者数 × 100)	高齢者の閉じこもりを防止し、地域の重要な社会資源である長生クラブの存続を図るためには、会員増加が重要であるため。				補助金申請時期が集中しないよう地区ごとに日程を組むことで、申請時の混雑を防止申請内容を精査する時間の確保を図った。					
		根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②会員数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		所沢市長生クラブ補助金交付要綱	4,590	4,251	③	H28年度目標		H28実績			地域のサークルをはじめ、集いの場となる多様な高齢者団体が増加しており、会員の登録数が伸び悩んでいるため。					団体運営事務を担う役員の支援方法を検討していく。 補助金事務の簡略化及び効率化を検討していく。
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	実績	H29年度目標		会員の高齢化が進み、団体の運営を支える役員のなり手が少なくなっているため。								
	期間	S62年度～	高齢者の知識及び経験を活かし、明るい長寿社会づくりに資することを目的として活動している長生クラブに補助金を交付し、イベントを共催して団体運営及び活動活性化の支援を行う。	0.14人	0.00人	①70クラブ	8%	5.47%								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	多くの人が参加して生きがいや健康向上を目指しているため、事業への参加者数を指標としている。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,026千円	868千円	①スポーツ大会参加者数	総参加者数	H28目標値が未達成の理由・分析				目標に対して80%を超える割合の実績があるため。				スポーツ大会において、多数の参加者が安全かつスムーズに入場できるように、入場口を移動し動線を確保した。	
		根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②囲碁将棋大会参加者数		H27年度目標	H27実績			クラブ活動の継続が長期的になるにつれ、会員の高齢化が進んでおり、事業の効率的な運営方法の工夫が求められる。				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		各種大会等開催要綱	1,165千円	1,091	③演芸大会参加者数	H28年度目標		H28実績			長生クラブ会員数の減少に伴い、参加者数も減ってきている。				参加者の高齢化が進んでいるため、スポーツ大会では転倒などの事故発生について不安がある。実行委員会で種目内容などについて協議するなどして、安全な大会運営を検討していく。	
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	実績	H29年度目標										
	期間	S51年度～	スポーツや文化交流等を通じて相互の親睦を深めることにより、生きがいを高めて健康増進を図る。各種運営委員会を設置しスポーツ大会や演芸大会、囲碁将棋大会などを開催する。	0.62人	0.00人	①1,003人	1,930人	1,524人								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標に対してほぼ100%の割合で実績があり、概ね有意義であったと参加者の満足度が高いため。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2040	1,733	①応募状況 (応募者/定員数(160名))	学生生活の有意義率	仲間づくりや生きがいづくりを行い、市の行事に積極的に参加したり、自主的に団体を作り活動したりする高齢者を育むことを目標とする。				前年度のアンケート結果をもとに、講座内容の検討を行い、内容を充実させた。					
		根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②卒業証書授与率 卒業者/受講者		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		所沢市高齢者大学開設要綱、管理規程、運営委員会設置要綱	1,978	1,579	③講座回数	H28年度目標		H28実績			概ね有意義であったと回答している。その他の意見として、講座内容・運営について指摘するものがいくつかあった。				バスを利用した施設見学を行っていたが、貸切バスの利用料の変更に伴い、施設見学の見直しを行うとともに、講座内容を変更し充実させていく。	
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	実績	H29年度目標										
	期間	S52年度～	高齢者に生涯学習の一環として学習の機会を提供し、社会環境の変化に対応する能力と心身の健康を養う。それと同時に、学習を通じ多くの仲間づくりを行い、交流を深め高齢者の生きがい創造を果たすもの。約1年間、60歳以上の高齢者が約50講座を受講し、クラブ活動や委員会活動等を自主的に行う。	0.69人	0.00人	①0.9	100%	95%								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の目的達成のためには、多くの利用があることが重要のため。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	5371	5,140	①利用団体数	利用者数	H28目標値が未達成の理由・分析				目標に対して90%を超える割合の実績があるため。				年度の内、利用可能期間を3回に分けて利用申し込みを受け付けていたものを、多くの利用団体から年度計画を立てづらいとの声を反映させて、年度いっぱい利用可能期間にし、申込みを4月の1回にしたこと。	
		根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②利用者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		所沢市高齢者交流・研修支援事業補助金交付要綱	5,357	5,115	③	H28年度目標		H28実績			利用予定だったが制度を利用しなかった団体の分の補助金が、利用のキャンセル待ちをしていた団体に適用されなかった。その要因の一つに、キャンセル待ちの団体が何月まで利用の案内を待てるかわからなかったことがある。				利用可能だが参加者が集まらない等の理由により利用しないこととなった団体が速やかにキャンセルをし、利用のキャンセル待ちをしている団体に案内できるようにするための事務改善を検討する。	
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	実績	H29年度目標										
	期間	H27年度～	高齢者の外出・交流の機会を支援することにより、高齢者の親睦・社会参加・心身の健康保持等の促進を図る。高齢者の福祉又は地域に寄与する活動を継続的に行っている団体が、20人以上で貸切バスを使用し視察や研修、高齢者の福祉増進に寄与する活動を行った際、バス運賃に対し補助金を交付するもの。	0.64人	0.00人	①136団体	4,500人	3,917人								



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標については、目標値を達成できている。今後、事業の改善、効率化を引き続き図っていく。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	51,560	49,235	①年度末時点の機器利用台数	年度末時点の機器利用台数	機器の設置により事業目的が達成されることから、利用台数を指標とする。単身高齢者人口の増加により、利用者も増加する傾向にあるが、民間事業者の類似サービスの提供も増加しているため、見込み台数を約70台とした。				H28目標値が未達成の理由・分析				特になし。	
	一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年度末時点までの新規設置台数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
		事業の目的及び具体的な内容	53,776	50,613	実績	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		突発的な病気や事故などの緊急時の連絡手段を確保することにより、一人暮らし高齢者等の緊急時の不安を解消し、安心安全な生活を維持することを目的とする。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①1,582台	1,450台	1,521台	H28目標値が未達成の理由・分析			将来人口が減っていくものの、65歳以上の高齢者数は増加していき、2040年にピークを迎える予想(厚生労働省 高齢化白書)があることから、財源を逼迫することが予想される。					
		利用者が緊急時に緊急ボタン等を操作することにより、24時間対応で委託事業者のオペレーターが対応し、必要に応じて消防署に救急要請を行う。生活反応センサーや歩数計により、一定時間操作や動きがない場合も自動的にオペレーションセンターへ通報される。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②302台	1,555台	1,582台	H28目標値が未達成の理由・分析			今後、事業対象者の見直し・料金利用者負担・契約形態の見直し等について検討を段階的に実施していく。					
期間	S60年度～	6,062千円	0.70人	①1,582台	H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析		評価者							
		5,574千円	0.00人	②302台	1,650台		H28目標値が未達成の理由・分析		高齢者支援担当参事 瀬能 幸則							
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、利用率については、一定の成果があげられていると考えている。今後、本事業単独のチラシを作成し、わかりやすい事業となるよう努めていきたい。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	358	324	①市内の歩行可能な認知症高齢者数	利用率 (当該年度の利用者数÷市内の歩行可能な認知症高齢者数×100)	市内の歩行可能な認知症高齢者数(要援護高齢者調査による)のうち、およそ3%の利用者数を想定・目標としている。				H28目標値が未達成の理由・分析				特になし。	
	徘徊高齢者家族支援事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②利用者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
		事業の目的及び具体的な内容	434	285	実績	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		徘徊行動のある高齢者の早期保護と安全確保を行うことにより、当該高齢者を介護する家族の、肉体的・精神的な負担の軽減及び安心して介護ができる環境整備の促進を図る。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①1,070人	3%	3%	H28目標値が未達成の理由・分析			「高齢者福祉ガイド」の一部に掲載されているが、今後、当該事業の単独のチラシを作成し、郵送や窓口で渡せるようにする。					
		徘徊高齢者にGPS機器を携帯してもらい、徘徊した際、介護している家族が、位置情報(地図上の位置表示・電話でオペレーターからの位置照会等)をもとに早期保護を行う。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②33人	H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析			評価者					
期間	H15年度～	0.32人	0.00人	②33人	3%		H28目標値が未達成の理由・分析		高齢者支援担当参事 瀬能 幸則							
		2,744千円	0.00人	②33人	3%		H28目標値が未達成の理由・分析									
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年概ね(90%以上)達成しており、一定の成果があげられている。今後、事業の改善を進めていく。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,680	4,368	①訪問依頼者延べ人数	訪問延べ件数	事業希望者宅へ訪問することにより、安否の確認ができる。また依頼者は相談員と直接話すことにより安堵感を持つ傾向が多く、相談員からの言葉かけから、地域への場へ参加するきっかけにもなるため、訪問延べ件数を指標とする。				H28目標値が未達成の理由・分析				定例会で高齢者の消費者被害の特徴やトコロン元氣百歳体操等の学習を実施したことにより、相談員の質の向上を図った。	
	高齢者みまもり相談員設置事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②訪問延べ件数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
		事業の目的及び具体的な内容	4,680	4,368	③定例会・研修会	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		家族や隣近所との交流が疎遠になりがちな、単身高齢者や要援護高齢者世帯を定期的に訪問し、安否確認を行うとともに、話し相手となることで、高齢者が安心して暮らせる環境を整備し、高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①610人	12,000件	12,930件	H28目標値が未達成の理由・分析			今後も高齢者人口の増加が予想されるが、介護保険サービスや平成29年度より開始した介護予防・日常生活支援総合事業をはじめとして、高齢者が利用できる福祉サービスが漸次的に増加、多様化していくことが考えられる。こうしたことから、事業対象者や事業目的等の見直しを行い、本事業の改善を図る。					
		対象者本人や家族・民生委員・地域包括支援センター職員からの依頼によりみまもり相談員が訪問し、安否確認を行うとともに、話し相手となり、認知症予防・閉じこもり防止につなげる。その他、市で実施している福祉情報の提供を行う。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②12,001件	H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析			評価者					
期間	H14年度～	0.68人	0.00人	③6回	10,000件		H28目標値が未達成の理由・分析		高齢者支援担当参事 瀬能 幸則							
		5,831千円	0.00人	③6回			H28目標値が未達成の理由・分析									
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	指定事業者のメニュー変更により作成したパンフレットに修正が発生するなどして配布開始時期が遅れ、パンフレットの配布先を増やす等の事業改善が達成できなかったため。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	103	98	①配食サービス利用者数	高齢者利用率 (配食サービス利用者数 / 単身高齢者数 × 100)	食事による栄養面での自己管理に加え、見守りが特に大切だと考えられる単身高齢者の利用率を上げることで、健康的な在宅生活を送る高齢者の増加を図る。				H28目標値が未達成の理由・分析				高齢者にとって、見やすく分かりやすいパンフレットとなるように、写真付きや用途別にしている。	
	高齢者配食サービス事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②単身高齢者数		H27年度目標	H27実績			H28目標値が未達成の理由・分析					
		事業の目的及び具体的な内容	98	87	③延べ食数	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		在宅の高齢者が随時配食サービスを受けられる体制を整備する事によって食生活の改善、健康の増進、介護予防を図ることを目的とする。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①1,396人	20%	19%	H28目標値が未達成の理由・分析			パンフレットの配布先を増やすのみでなく、パンフレットの有効的な活用及び配布方法、事業の周知方法を検討する。					
		市で定めた指定基準を満たした事業者を掲載した一覧表を作成し、利用希望のある高齢者への周知や地域包括支援センターからの案内を行っている。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②11,791人	H29年度目標		H28目標値が未達成の理由・分析			評価者					
期間	H17年度～	0.09人	0.00人	③437,417食	15%		H28目標値が未達成の理由・分析		高齢者支援担当参事 瀬能 幸則							
		772千円	0.00人	③437,417食			H28目標値が未達成の理由・分析									



所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	高齢者世帯に対する配布目標を達成したため。高齢者支援課が主催する各種イベントや講座等で積極的にキットの配布を行った効果が顕著に表れているため。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	972	324	①配布対象世帯数	普及率 (救急医療情報キット所有世帯/65歳以上の方がいる世帯×100)	救急医療情報キットは高齢者がいる世帯を対象に配付している為。				町内会や認知症カフェ等、主催者から普及協力の申出があれば積極的にキットを配布したこと。					
	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②累計配付個数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	事業の目的及び具体的な内容		544	490	③						・遠出できない高齢者へ配布するために、まちづくりセンターや民生委員等への協力方法を検討する。 ・必要度の高い高齢者への周知方法を検討する。					
	期間		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
	H23年度～	高齢者等の安心安全な生活を確保することを目的とする。「かかりつけ医」「持病」等の医療情報及び「緊急連絡先」等の情報並びに「健康保険証の写し」「処方されている薬一覧の写し」等を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管することにより、迅速な救急活動に役立つものである。これを市広報等で65歳以上の方がいる世帯への周知を図るもの。	0.21人	0.00人	①60,794世帯	20%	17%	目標達成済								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を概ね達成している。	H28年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	13,600	11,920	①対象者数	支給達成率 (支給者数÷対象者380人のうち入院者等を除いた295人)	日中主にベッド、布団上で生活し、居室内での生活は何らかの介助を必要とするねたきり高齢者380人(要介護高齢者調査による)のうち、入院者等を除き、およそ78%の対象者(295人)をベースに支給達成率を100%の目標としている。				平成27年度まで「月15日以上自宅で介護している状態が6箇月連続していること」⇒平成28年度から「ショートステイや入院等が月7日以内までで6箇月連続していること」と支給条件を変更した。					
	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②支給者数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	事業の目的及び具体的な内容		12,800	11,200	③						特になし。					
	期間		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
	H8年度～	ねたきり老人等介護者手当支給事業 手当を支給し、ねたきりや認知症高齢者等を長期的に在宅介護する者の身体的・精神的負担を軽減することを目的とする。65歳以上で要介護認定を受け要介護4又は5の状態のねたきり老人等を常時介護している介護者に、年度に1回40,000円を申請により支給するものである。	0.29人	0.00人	①380人	100%	101%	平成28年度から、「常時介護している」対象者を制限した。								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の初年度としては、目標を概ね達成できたが、周知に努める必要がある。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0	0	①対象者数	利用率 (当該年度の利用者数÷ねたきり老人等介護者手当支給者数)	ねたきり老人等介護者手当支給者を対象として、リフレッシュによる疾病予防等の効果を目的することから、その利用率を指標とする。				新規事業であったため、後半、勧奨チラシを送付した。初年度であったため、アンケート調査を実施した。					
	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②利用者数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	事業の目的及び具体的な内容		1,280	146	③利用率						地域包括支援センターに介護者の集い等のリーフレット等を施術機関に置くよう依頼する。また、来年度の当初予算の減額を検討する。					
	期間		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
	H28年度～	在宅のねたきり老人等を介護している者に対し、はり、きゅう、マッサージ等の施術その他の介護者のリフレッシュに資する事業を実施することで、介護者の疾病予防、病気の早期発見等を図り、もって住み慣れた自宅で介護を続けられるよう支援することを目的とする。ねたきり老人等介護者手当支給者を対象に、所沢市在宅介護者リフレッシュ事業利用券を2枚交付し、市が委託する施術機関において、はり、きゅう、マッサージ等の施術(訪問・通院)を低額で利用できるよう支援する。	0.00人	0.00人	①280人	H28年度目標	H28実績	平成28年度が初年度の開始事業であったため、周知不足があった。								
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値にやや達成できていないが、お達者倶楽部団体数は増加傾向にあり、活動も活発に行われていることから一定の成果が挙げられている。今後、事業の改善、効率化を図りながら団体数の確保に努めていきたい。	H28年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	8,250	8,250	①お達者倶楽部運営ボランティア数(推進委員数)	お達者倶楽部団体設置数	単身高齢者・高齢者世帯の増加が見込まれることから、地域の中に「高齢者の居場所」を作ることにより、参加する高齢者の介護予防や認知症予防、閉じこもり予防の効果が期待できる。そのため、団体設置数を目標値としている。				平成29年度からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、補助対象の見直しが必要であることから、地域ごとに説明会を開催し制度変更の周知を行った。					
	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)	②お達者倶楽部会員数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	事業の目的及び具体的な内容		10,500	8,051	③お達者倶楽部事業参加会員・推進委員のべ人数						お達者倶楽部の推進員・会員ともに高齢化が進んでおり、推進委員等の世代交代が課題となっている。新規の推進員・会員を増やすよう引き続き周知をしていく。					
	期間		H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
	H13年度～	高齢者に居場所を提供し、在宅の高齢者が閉じこもり・寝たきり・認知症にならないよう支援するために活動している地域のボランティア団体に助成金を支給する。市および地域包括支援センターと連携して高齢者の介護予防を図るとともに、高齢者の地域との関わりを支援する。	1.49人	0.00人	①338人	60団体	61団体	平成29年度から補助対象の見直しを行うこと等により、団体数が目標値まで届かなかったと考えられる。								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響						
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの						
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値をやや達成できていないが、アンケートや測定会を行うことにより着実に介護予防の普及啓発が広まってきている。	H28年度に改善した点	無	無						
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	29,587	24,543	①アドバイス票送付数	アンケート回答率		アンケートの回答者にはその分析結果をもとにアドバイス表を作成・送付することにより、自発的な介護予防への取組を促進していることからアンケートの回収数を目標指標としている。												
		根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②測定会参加者数	H27年度目標		H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析											
		介護保険法	30,245	25,020	③	80%		64%												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	実績	H28年度目標		H28実績	アンケートの実施時期を前年より早めるなど工夫を図ることにより回答率は増加した。今後も周知、啓発を図りたい。											
		高齢者の自立した生活を続けていくことに対する意欲を高め、より自発的な取組を促進するため、自宅で手軽にできる介護予防に関する情報や地域の介護予防教室等についての普及啓発を行う。	2.49人	0.00人	①16,248通	80%		67%												
			H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職	②460人	H29年度目標														
			1.66人	0.00人	③	70%														
	期間		H27年度～	14,235千円	臨時職員	0.00人											評価者			
																	高齢者支援担当 参事 瀬能 幸則			